

# 配水施設の現状分析

NO	配水場名	用地面積	配水量	配水池			現状分析	分析結果
		(㎡)	(㎡/日)	建設年度	更新の時期	診断要施設		
1	堀山下高区配水場	無	500	1956	2014	×	54年経過、経年劣化が進行中	×
2	栢窪高区配水場	無	21	1956	2014	×	55年経過、経年劣化が進行中	×
3	菩提高区配水場	703	220	1956	2014	×	56年経過、経年劣化が進行中	×
4	千村配水場	2,855	4,200	1967	2025	済	平成21年度診断実施(問題なし)	○
5	内久根配水場	852	3,250	1970	2028	×	経年劣化、	×
6	堀山下中区配水場	4,834	2,400	1971	2029	○	劣化については問題なし	○
7	堀山下低区配水場	2,751	3,400	1971	2029	○	劣化については問題なし、防水塗装要	○
8	名古屋配水場	294	195	1971	2029	○	劣化については問題なし、遮断弁要	○
9	広畑配水場	3,270	4,240	1972	2030	済	診断の結果(補強要)	×
10	八幡山配水場	4,677	4,480	1972	2030	済	経年劣化、診断の結果(補強要)	×
11	金井場配水場	8,798	9,660	1972	2030	○	経年劣化が進行中	×
12	湯の沢高区配水場	517	250	1972	2030	○	経年劣化が進行中	×
13	蓑毛配水場	348	455	1974	2032	○	経年劣化が進行中	×
14	寺山配水場	795	880	1975	2033	○	経年劣化が進行中、遮断弁要	×
15	落合配水場	689	1,630	1975	2033	○	良好な状況	○
16	菩提低区配水場	996	300	1979	2037	○	劣化については問題なし、防水塗装要	○
17	山居配水場	175	100	1979	2037	○	劣化については問題なし、遮断弁要	○
18	古堂配水場	586	120	1979	2037	○	劣化については問題なし、遮断弁要	○
19	柳川配水場	307	300	1979	2037	○	漏水痕跡が見られる、防水塗装要	○
20	横野配水場	395	450	1980	2038	○	劣化については問題なし、遮断弁要	○
21	羽根配水場	1,334	1,400	1980	2038	○	漏水痕跡が見られる、防水塗装要	△
22	神明開戸配水場	1,384	400	1980	2038	○	劣化については問題なし	○
23	八沢配水場	317	150	1980	2038	×	新東名予定地で移設要	△
24	三廻部高区配水場	685	200	1981	2039	○	劣化については問題なし、遮断弁要	○
25	菖蒲配水場	339	200	1981	2039	○	劣化については問題なし、遮断弁要	○
26	向山配水場	2,553	4,550	1982	2040	新耐震基準	劣化については問題なし、1池の問題	△
27	城山配水場	2,414	5,500	1984	2042	新耐震基準	ドーム内部のCOの剥離、PCタンクの問題	○
28	六間配水場	2,400	4,000	1994	2052	新耐震基準	劣化については問題なし、適切な管理	○
29	峠配水場	1,084	1,000	1996	2054	新耐震基準	劣化については問題なし、適切な管理	○
30	八沢大久保配水場	170	100	1998	2056	新耐震基準	劣化については問題なし、適切な管理	○

※ 更新の時期については、法定耐用年数から算出した目安です。